



2015年4月9日

各 位

会社名 イオン九州株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柴田 祐司  
(コード番号 2653 JASDAQ)  
問合せ先 取締役経営戦略本部長 榊 隆之  
(電話番号 092-441-0611)

### 株式会社ダイエーの九州地域におけるGMS事業の運営の承継に関する 基本合意書締結のお知らせ

イオン九州株式会社（以下、「当社」といいます。）は、2015年4月9日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社ダイエー（以下、「ダイエー」といいます。）との間で、ダイエーの九州地域におけるゼネラル・マーチャндаイズ・ストア（以下、「GMS」といいます。）事業（以下、「対象事業」といいます。）の運営を当社が承継（以下、「本事業運営承継」といいます。）することに関して、基本合意書の締結（以下、「本合意」といいます。）を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本事業運営承継の目的

当社は、純粋持株会社イオン株式会社（以下、「イオン」といいます。）を中心とするイオングループに属しております。イオングループは300社余りの企業から構成され、ゼネラル・マーチャндаイズ・ストア（総合スーパー）（以下、「GMS」といいます。）やSM等を展開する小売業を中心に、総合金融、ディベロッパー、サービス等の各事業を、国内外で複合的に展開しております。イオングループの基本方針については、本日、イオンが開示しました「株式会社ダイエーのGMS事業並びにSM事業の構造改革に向けたグループ横断的取り組みについて」をご参照下さい。

本事業運営承継は、ダイエーのイオングループ参画に伴う構造改革の先鞭として九州地域における小売事業の体制を再構築し、九州地域で「ベストローカル」を実現する運営体制に進化させていくことを目的としています。

当社は、2014年9月24日にダイエーとの店舗編成に関する検討を開始し、様々な角度から検証や調査を行ってまいりました。将来的な一体運営に向けて検討するなかで、九州におけるGMSの店舗数や売上規模の大きさを考慮し、本合意に至りました。

具体的には、ダイエーの九州地域におけるGMS事業の運営を当社が運営承継することにより、地域単位でマネジメントを完結させ、GMS事業の運営に関する意思決定スピードを速めることで、お客さまに支持される地域密着経営の実現を目指してまいります。また、地域戦略を一体となって推進していくことにより、九州におけるイオングループのブランド認知度向上と小売事業シェアNo.1に向けた事業基盤の確立を図ります。更に、物流の集約・効率化等によるコストシナジーや商品調達におけるスケールメリット、好立地にあるダイエー店舗の活性化や共通販促による営業強化など、運営承継により種々のシナジー創出を、地域一体となって進めて参ります。

九州における小売業を取り巻く環境は、消費増税による駆け込み需要とその反動減が影響しており、依然として不透明な状況が続いております。ディスカウントストア、ドラッグストア等の出店が加速しており、業種・業態を超えた競争はさらに厳しさを増しております。この環境の中におきまして、本合意により、九州で深く愛されてきたダイエーのローカルの強みに加え、イオンのスケールメリットを活かした商品の調達や販売促進施策やインフラ等を共有し、より地域に密着した店づくりを推進してまいります。

時代のニーズは常に変化しており、その変化に的確、且つスピードを持って対応していくことや、ニーズを先取りした提案を行っていくことが総合小売事業の役割であると考え、地域完結型のマネジメントの実現により、「九州No. 1の信頼される企業」を目指すため、本合意を決定致しました。今後も本事業運営承継に関して詳細に検討し、正式に決定次第速やかに公表いたします。

## 2. 本事業運営承継の内容等

### (1) 運営承継の内容

対象事業は、会社分割により新会社に移転される予定です。また、新会社はイオン株式会社の完全子会社になる予定です。当社は、移転される以下の対象事業（ダイエーの店舗）の運営を、新会社から承継（業務受託）することにつき、検討しております。詳細については、両社協議の上決定いたします。

運営店舗					
(1)	ダイエー西新店	福岡県 福岡市	(13)	ダイエー長崎店	長崎県 長崎市
(2)	ダイエーショッピング福岡店	福岡県 福岡市	(14)	ダイエー千歳店	長崎県 長崎市
(3)	ダイエー野芥店	福岡県 福岡市	(15)	ダイエー壱岐店	長崎県 壱岐市
(4)	ダイエー福重店	福岡県 福岡市	(16)	ダイエー島原店	長崎県 島原市
(5)	ダイエー笹丘店	福岡県 福岡市	(17)	ダイエー熊本店	熊本県 熊本市
(6)	ダイエーマリナタウン店	福岡県 福岡市	(18)	ダイエー日田店	大分県 日田市
(7)	ダイエー下大利店	福岡県 大野城市	(19)	ダイエー都城駅前店	宮崎県 都城市
(8)	ダイエー城野店	福岡県 北九州市	(20)	ダイエー宮崎店	宮崎県 宮崎市
(9)	ダイエー二日市店	福岡県 筑紫野市	(21)	ダイエー鹿児島店	鹿児島県 鹿児島市
(10)	ダイエーショッピングモールなかま	福岡県 中間市	(22)	ダイエー鹿児島中央店	鹿児島県 鹿児島市
(11)	ダイエー水巻店	福岡県 遠賀郡	(23)	ダイエー鹿児島谷山店	鹿児島県 鹿児島市
(12)	ダイエー銅座店	長崎県 長崎市	(24)	ダイエープラザ大島店	鹿児島県 奄美市

### 3. 相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ダイエー		
(2) 所 在 地	兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目1番1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 近澤靖英(注1)		
(4) 事 業 内 容	小売事業		
(5) 資 本 金	56,517百万円		
(6) 設 立 年 月 日	1957年4月10日		
(7) 大株主及び持株比率	イオン(株) 100%(注2)		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当該事項はありません	
	人 的 関 係	当該事項はありません	
	取 引 関 係	当事会社間には、特筆すべき取引関係はありません	
	関連当事者への該当状況	当社とダイエーは、同一の親会社(イオン)を持つため、関連当事者に該当します	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2013年2期 (連結)	2014年2期 (連結)	2015年2期 (個別)(注4)
純 資 産	133,476	109,166	70,254
総 資 産	355,853	324,966	280,947
1株当たり純資産(円) (注3)	335.46	274.29	176.63
売 上 高	772,809	756,487	577,689
経 常 利 益	△3,674	△9,339	△18,007
当 期 純 利 益	△3,693	△24,330	△25,672
1株当たり当期純利益(円) (注3)	△9.28	△61.17	△64.54
1株当たり配当金(円)	0	0	0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注1) 2015年2月1日付、役員人事異動により代表取締役には近澤靖英氏が就任しています。

(注2) 2015年1月1日付、イオン及びダイエー間の株式交換効力発生に伴い、ダイエーはイオンの100%子会社となっています。

(注3) ダイエーは、2014年9月1日付で1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。よって、上記「(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」に記載の「1株当たり純資産」及び「1株当たり当期純利益」は、当該株式分割が2013年2月期の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報を記載しています。

(注4) ダイエーはイオンの100%子会社となったため、2015年2月期については連結財務諸表を作成しておらず、開示できる経営成績及び財務状況はございません。

### 4. 日 程

(1) 取締役会決議日	2015年4月9日
(2) 運営承継開始日	2015年9月1日(予定)

ダイエーの株主総会の要否は、今後の協議により決定されるため、現時点では未定です。

## 5. 今後の見通し

当社は、本事業運営承継に伴い、業務受託収入を見込んでおります。今後更に当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

## 6. 支配株主等との取引に関する事項

本事業運営承継は、当社にとって支配株主との取引等に該当します。

そのため、当社は、公正性を確保するための適切な措置を講じた上で、本事業運営承継にかかる契約を締結する予定です。

本事業運営承継は、イオングループ内の運営の承継（業務受託）であり、利益相反構造が存在することから、当社は、利益相反を回避するための措置を講じた上で、本事業承継にかかる契約を締結する予定です。

なお、イオンの従業員を兼任している監査役の原 伸明、福井 恵子は、利益相反回避の観点から、本合意に係る意思決定に参加していません。

当社は、取締役会における本事業運営承継に係る承認決議までに、当該決議が当社の少数株主にとって不利益なものではないことに関する意見を、支配株主との間に利害関係のない者から取得することを予定しております。

以 上